

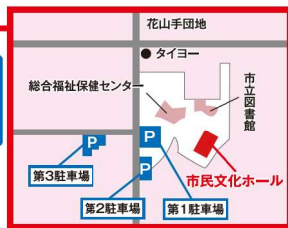
1日目

8月4日(木) 宮崎市民文化ホール

宮崎市花山手東3丁目25-3



第1、第2、第3駐車場
合計駐車場台数
約600台



シャトルバスのご案内(予定)

宮崎空港 → 宮崎市民文化ホール ※所要時間約20分
●出発時間 10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00

JR宮崎駅東口 → 宮崎市民文化ホール ※所要時間約15分
●出発時間 11:00 / 12:00 / 13:00

会場案内

2日目

8月5日(金) 宮崎公立大学

宮崎市船塚1丁目1-2



シャトルバスのご案内(予定) ※所要時間約10分

JR宮崎駅東口 → MEGADン・キョーテ橋通店前
→ 宮崎公立大

●JR宮崎駅東口 出発時間 7:00 / 7:30 / 8:00 / 8:30
●MEGADン・キョーテ橋通店前には、約5分後に到着します。
※閉会式後とアドバイザー会議後に宮崎駅行きのバスを運行します。

第27回

NIE全国大会 宮崎大会

いまを開き 未来を拓く NIE

2022
Miyazaki



Newspaper In Education



参加申込 受付期間 7月20日(水)まで

参加費

- ①教育関係者・一般 / 2,800円
 - ②新聞社・通信社・新聞販売関係者 / 10,000円
- ※元教員で現在新聞社・通信社に勤務されている方は②となります。

申込方法

日本新聞協会のNIEウェブサイト (<https://nie.jp>) または宮崎日日新聞社HP内のNIE全国大会専用ページ (<https://www.the-miyanichi.co.jp/special/nie2022/>) からお申し込みください。

団体もしくは複数名同時にお申し込みされる方は、メール (nie2022miyazaki@the-miyanichi.co.jp) もしくは下記大会事務局 (0985-26-9304) までご相談ください。



大会に関するお問い合わせ

大会実行委員会事務局(宮崎日日新聞社) TEL.0985-26-9304 (平日9時~12時、13時~17時)
日本新聞協会 新聞教育文化部NIE担当 TEL.03-3591-4410 (平日9時30分~17時30分)

ウェブサイトからの参加申し込みに関するお問い合わせ

大会実行委員会事務局(宮崎日日新聞社) TEL.0985-26-9304 (平日9時~12時、13時~17時)

日時

2022年 8月4日(木)・5日(金)

会場

1日目 8月4日(木) 宮崎市民文化ホール
2日目 8月5日(金) 宮崎公立大学

※大会終了後に一部を動画配信予定です。

【主催】日本新聞協会

【共催】宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会

【後援】文部科学省、日本NIE学会、文字・活字文化推進機構、全国学校図書館協議会、宮崎県市町村教育委員会連合会、

宮崎県校長会、宮崎県立学校長協会、宮崎県私立中学高等学校協会、宮崎県PTA連合会、宮崎県高等学校PTA連合会、

宮崎県私立中学高等学校保護者会連合会、宮崎県教職員互助会、日本教育公務員弘済会宮崎支部、

宮崎大学、宮崎公立大学、南九州大学、九州保健福祉大学、宮崎産業経営大学、宮崎国際大学

【主管】宮崎県NIE推進協議会、宮崎日日新聞社



日本の
ひなた
宮崎県

1日目 8月4日(木)

【会場】宮崎市民文化ホール

11:30	開場
13:30~13:50	開会式
13:50~15:15	記念講演 吉野彰 (ノーベル化学賞受賞者)

「リチウムイオン電池が拓く未来社会」



「延岡」大きな光に よしの・あきら 旭化成名誉フェロー。1948年生まれ、大阪府吹田市出身。72年京大大学院工学研究科石油化学専攻修士課程修了、旭化成工業(現・旭化成)入社。電池材料事業開発室長などを経て、2017年から現職。リチウムイオン電池の開発で、19年ノーベル化学賞受賞。名城大特別荣誉教授、産業技術総合研究所ゼロエミッション国際共同研究センター長などを兼ねる。



2019年10月10日付 宮崎日日新聞

15:30~15:40	基調提案
15:40~17:10	パネルディスカッション

「NIEで伸びる力、伸ばす力

～子どもたちを持続可能な未来の創り手へ～

■コーディネーター

水永正憲 (NIE全国大会宮崎大会実行委員長)

■パネリスト(50音順)

木幡佳子 (宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校指導教諭・日本新聞協会NIEアドバイザー)

新地辰朗 (宮崎大学理事、副学長)

関口修司 (日本新聞協会NIEコーディネーター)

高村心花 (宮崎県立宮崎西高等学校1年)

中山 隆 (こゆ地域づくり推進機構・教育イノベーション推進専門官)

17:10~	次回開催地あいさつ
--------	-----------

2日目 8月5日(金)

【会場】宮崎公立大学

8:00	開場
9:00~10:30	分科会1部
10:30~11:00	休憩
11:00~12:30	分科会2部
12:45~13:00	閉会式 ※講堂
14:00~16:00	全国NIEアドバイザー会議 ※交流センター

分科会(2日目)のタイムスケジュール

※感染対策のため入室人数を制限する場合がございます。

2022 Miyazaki

	分科会1部(9:00~10:30)	分科会2部(11:00~12:30)
福利厚生棟 1階食堂 1階	A 小学校 公開授業 宮崎発見隊 ～県の特産物を調べよう～ 宮崎市立生目台西小学校 【発表者】郡司美和子指導教諭 新聞記事を活用して、生産者の思いや願いに触れ、地域の特産物について関心を高めていく学習です。	G 小学校 総合的な学習の時間 公開授業 わたしと宮崎 ～宮崎の魅力再発見～ 宮崎大学教育学部附属小学校 【発表者】荒川ひかり教諭 新聞記事を活用し、修学旅行先としての「宮崎の魅力」について様々な視点から考え、再発見していきます。
101 大講義室 1階	B 中学校 実践発表 社会の様々な事象を自分事として考え、行動する力を育成するNIE ～日々の教育活動の中での取り組みを通して～ 国富町立八代中学校 【発表者】柿木一光教諭 新聞情報ステーション設置や、立式での決意表明と家族への一言などをまとめた内容を新聞形式にする様子を発表します。	H 支援学校 実践発表 日本語を身に付け、自分の意思を表現できるようにするために ～新聞を用いた実践～ 宮崎県立都城さくら聴覚支援学校 【発表者】佐藤綾、治田隆宏、田中亚紀 各教諭 聴覚支援を要する幼児児童生徒の発達段階に応じ、新聞を用いて「日本語」を学んでいる様子を発表します。
102 大講義室 1階	C 小学校 実践発表 心と心をつなぎ、生きる力を蓄えるNIE 日之影町立日之影小学校 【発表者】田崎香織教頭(日本新聞協会NIEアドバイザー) 新聞を通して、人と人、心と心がつながれば、生きる力も蓄えることができる小学校におけるNIEの在り方をご紹介します。	I 小学校 実践発表 学力向上とNIE ～読解力向上の取り組みを通して～ 日南市立油津小学校 【発表者】福島和馬教諭 新聞コラムを活用することで、全ての教科の基礎となる読解力を向上させる取り組みを実践しました。
103 大講義室 1階	D 中学校 実践発表 新しいものさしで考える ～新聞を通して世界を学ぶ3年間～ 宮崎第一中学校 【発表者】緒田浩輔教諭 新聞とSDGsを結びつけることで世の中に対する理解を深め、自分の世界を広げていく取り組みを報告します。	J 中学校 総合的な学習の時間 実践発表 パブリック・ディベート 「令和の新聞購読率低下を救え!」 ～未成年の私たちからの提案～ 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 【発表者】木幡佳子指導教諭(日本新聞協会NIEアドバイザー) 中高生が新聞購読率低下問題について議論します。ネット社会の中で新聞の役割はどう変わるのか?
2階多目的 演習室 2階	E 高校 公開授業 新聞スクラップの活用 ～汎用性のある発展を目指して～ 宮崎県立宮崎大宮高等学校 【発表者】五反田聡教諭 新科目「公共」や総合的な探究の時間などで、新聞を活用する1つの展開例となることを目指します。	K 高校 公民(現代社会) 公開授業 工業高校におけるNIE実践 ～AI(人工知能)と労働～ 宮崎県立宮崎工業高等学校 【発表者】渡会健広教諭 AI(人工知能)が雇用に与える影響について考え、今後自分たちに求められる能力に関して考察する学習です。
交流 センター	F 中学校 総合的な学習の時間 公開授業 情報生産プロジェクト ～学校紹介新聞を創造しよう～ 宮崎大学教育学部附属中学校 【発表者】鬼塚拓教諭 「学校紹介新聞」の創造を通して「宮大附属中はいったいどのような学校だと表現できるのか」を探究します。	L 中学校 社会科 公開授業 「身近な地域の調査」 ～国富町の将来を考える学習を通して～ 国富町立本庄中学校 【発表者】山本健太教諭 独自の「中学生新聞」で、生徒が「ふるさとの魅力」と「将来のまちづくりのアイデア」を提言する社会科授業です。
講堂		M 大学 新聞社 共同発表 大学教育とNIE ～情報消費者から情報生産者へ～ 宮崎公立大学 × 宮崎日日新聞社 【発表者】四方由美教授、倉真一准教授、他2名と宮崎日日新聞社より2名 宮崎日日新聞社の記者が講師となる「時事問題ガイド」の実践から、大学におけるNIE教育の可能性を提案します。